2022年度生　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	適正飼養指導論	担当講師 (実務経験)	池田　麻美 有■　無□		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	3年　(　■前期　・　■後期　)		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)　後期(15)	時間(単位)	60(4)
概要	愛玩動物の効用や使用目的等を理解した上で適性巣用の推進活動、災害時の危機管理のあり方、動物愛護管理行政の仕組みについて理解する				
テキスト等					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品	20%
	授業態度	
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行	前期	講義テーマ	講義内容
	1	愛玩動物の飼養　1	愛玩動物の適正飼養の目的、概念
	2	愛玩動物の飼養　2	愛玩動物飼養の現状
	3	愛玩動物の飼養　3	愛玩動物飼養によって人間が受ける影響と問題点
	4	愛玩動物の飼養　4	グリーフケア
	5	愛玩動物の飼養　5	ペットロス
	6	適正飼養の推進　1	適正飼養に関する支援の目的と活動
	7	適正飼養の推進　2	動物取扱業者における適正飼養
	8	適正飼養の推進　3	愛玩動物の過剰繁殖の問題とその対策
	9	適正飼養の推進　4	問題行動予防のための適切な飼養方法としつけ
	10	適正飼養の推進　5	飼い主に指導すべき事項、方法
	11	災害危機管理と支援　1	災害時の同行避難
	12	災害危機管理と支援　2	愛玩動物とその飼い主の災害の備え①
	13	災害危機管理と支援　3	愛玩動物とその飼い主の災害の備え②
	14	災害危機管理と支援　4	災害獣医療の概要と災害時における愛玩動物看護師の役割①
	15	災害危機管理と支援　5	災害獣医療の概要と災害時における愛玩動物看護師の役割②

2022年度生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	適正飼養指導論	担当講師	池田　麻美

	後期	講義テーマ	講義内容
授業進行	16	動物愛護管理行政　1	公衆衛生業務における愛玩動物看護師の役割①
	17	動物愛護管理行政　2	公衆衛生業務における愛玩動物看護師の役割②
	18	動物愛護管理行政　3	動物愛護週間の役割と実施状況
	19	動物愛護管理行政　4	犬・猫の引取り及び負傷動物などの収容並びに処分の状況①
	20	動物愛護管理行政　5	犬・猫の引取り及び負傷動物などの収容並びに処分の状況②
	21	動物愛護管理行政　6	動物による事故の内容と報告状況①
	22	動物愛護管理行政　7	動物による事故の内容と報告状況②
	23	動物愛護管理行政　8	動物愛護管理センターの活動
	24	動物愛護管理行政　9	動物愛護推進員・協議会の役割
	25	動物愛護管理行政　10	動物取扱責任者の選任条件と役割
	26	シニアケア　1	動物医療従事者としての心構え
	27	シニアケア　2	在宅介護①
	28	シニアケア　3	在宅介護②
	29	動物終末期(飼い主)ケア　1	動物終末期(飼い主)ケアの総論と動物看護師の役割①
	30	動物終末期(飼い主)ケア　2	動物終末期(飼い主)ケアの総論と動物看護師の役割②

2022年度生　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物内科看護学実習Ⅲ		担当講師 (実務経験)	山田　裕一 有■　無□	
対象学科	動物看護学科		年次・学期	3年　(　■前期　・　□後期　)	
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)　後期(－)	時間(単位)	30(1)
概要	内科診療に必要な手技など、動物内科看護学で学んだ知識の実践力を習得する				
テキスト等					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	%
	レポート	20%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	身体検査復習　1	全身状態(意識レベル、ボディコンディションスコア、粘膜色、浅在リンパ節、体重測定を含む)を評価できる
	2	身体検査復習　2	バイタルサインを評価できる(体温、脈拍数、呼吸数、毛細血管再充満時間(CRT)、股動脈圧)
	3	診察補助復習　1	診察の準備や診察室の衛生管理ができる
	4	診察補助復習　2	聴診器や体温計、注射器を適切に取り扱うことができる
	5	診察補助復習　3	採血・採尿(尿カテーテルの挿入を含む)の手順を習得している
	6	診察補助復習　4	薬剤の取扱い、経口投与・注射の手順を習得している
	7	輸液・輸血に関わる技術復習　1	留置針設置の手順を修得し、準備及び補助ができる
	8	輸液・輸血に関わる技術復習　2	輸液ポンプ、シリンジポンプを使用できる
	9	マイクロチップに関わる技術復習　1	マイクロチップの適切な挿入部位について理解する
	10	マイクロチップに関わる技術復習　2	マイクロチップ装着手順を習得している
	11	生体検査復習　1	心電図検査を実施し、結果を記録できる
	12	生体検査復習　2	X線撮影に関する手順を習得している
	13	生体検査復習　3	超音波検査のための基本的な保定ができる
	14	生体検査復習　4	眼科検査の補助ができる
	15	生体検査復習　5	皮膚検査、外耳道検査の補助ができる

2022年度生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	トリミング応用実習		担当講師 (実務経験)	伊藤　航		
対象学科	動物看護学科		年次学期	3年　(　■前期　■後期　)		
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(60)　後期(60)	時間(単位)	240(8)
概要	一人で一頭の犬の全身カットを仕上げる技術を身に着ける					
テキスト等	トリミング学テキストⅠ　トリミング器具					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト技術力作品 レポート	20%
	授業態度	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット①
	2	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット②
	3	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット③
	4	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット④
	5	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット⑤
	6	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット⑥
	7	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット⑦
	8	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット⑧
	9	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット⑨
	10	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット⑩
	11	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット⑪
	12	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット⑫
	13	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット⑬
	14	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット⑭
	15	応用実習　ステップ1	時間配分 四肢、肛門回り、後躯のカット⑮

2022年度生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	生命倫理・動物福祉		担当講師 （実務経験）	池田　麻美 有■　無□	
対象学科	動物看護学科		年次・学期	3年　（　■前期　・　□後期　）	
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数（1コマ90分）	前期（15）後期（—）	時間（単位）	30（2）
概要	生命倫理の意義、動物福祉の基本概念を学び専門職としての理解を深める。				
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書第1巻基礎動物看護学（緑書房）				

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合（%）
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	動物福祉とは	人と動物の関係
	2	生命倫理の概念　1	生命倫理の考え方
	3	生命倫理の概念　2	生命倫理と獣医療の関わり
	4	生命倫理の概念　3	西欧と日本における動物観の違い
	5	動物福祉の概念　1	動物福祉の考え方・「5つの自由」
	6	動物福祉の概念　2	世界と日本における近代及び現代の動物愛護運動
	7	愛玩動物の福祉　1	愛玩動物の適正飼養と福祉上の問題
	8	愛玩動物の福祉　2	国内外の動物保護活動の現状と課題
	9	愛玩動物の福祉　3	飼養放棄や殺処分問題、動物のみだりな殺傷・虐待（積極的な虐待とネグレクト）の現状、対策
	10	産業動物の福祉　1	産業動物における福祉上の問題
	11	産業動物の福祉　2	国際的な福祉基準
	12	実験動物の福祉　1	実験動物における福祉上の問題
	13	実験動物の福祉　2	3Rの概念と具体的方法
	14	展示動物の福祉　1	展示動物における福祉上の問題
	15	展示動物の福祉　2	環境エンリッチメント

2022年度生　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物臨床看護学各論Ⅱ		担当講師 （実務経験）	伊藤　航 有■　無□		
対象学科	動物看護学科		年次・学期	3年　（　■前期　・　■後期　）		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数（1コマ90分）		前期(15)　後期(15)	時間（単位）	60(4)
概要	様々な疾患の病態生理を理解しそれによって引き起こされる症状や必要な処置、治療に関する基本的な知識を学び、各々の機能障害を持つ動物に対してどのような看護を提供すべきか評価と介入の方法について理解する。					
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書第5巻基礎動物看護学（緑書房）					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合（%）
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行	前期	講義テーマ	講義内容
	1	代表的な疾患　1	生殖器疾患　①
	2	代表的な疾患　2	生殖器疾患　②
	3	代表的な疾患　3	生殖器疾患　③
	4	代表的な疾患　4	生殖器疾患　④
	5	代表的な疾患　5	整形外科疾患　①
	6	代表的な疾患　6	整形外科疾患　②
	7	代表的な疾患　7	整形外科疾患　③
	8	代表的な疾患　8	整形外科疾患　④
	9	代表的な疾患　9	皮膚疾患　①
	10	代表的な疾患　10	皮膚疾患　②
	11	代表的な疾患　11	皮膚疾患　③
	12	代表的な疾患　12	皮膚疾患　④
	13	代表的な疾患　13	皮膚疾患　⑤
	14	代表的な疾患　14	神経疾患　①
	15	代表的な疾患　15	神経疾患　②

2022年度生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物看護関連法規 動物愛護・適正飼養関連法規	担当講師 (実務経験)	伊藤　航 有■　無□		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	3年　(　■前期　・　□後期　)		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(15)　後期(ー)	時間(単位)	30(2)
概要	動物愛護に関連する基本的な法規、、動物の愛護及び適正飼養に関連する様々な法規学び、社会における愛玩動物看護師の役割を知り人と動物の共生のあり方等を学ぶ				
テキスト等					

評価方法
評価基準

評価方法	評価割合(%)
定期試験	60%
小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
レポート	%
出席状況	20%

授業進行

前期	講義テーマ	講義内容
1	法学総論	法の体系 獣医療に関連する法規と愛玩動物看護師の関わり
2	愛玩動物看護師法	愛玩動物看護師法の目的・定義等
3	獣医療関連行政法規	獣医師法、獣医療法
4	公衆衛生行政法規　1	感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律
5	公衆衛生行政法規　2	狂犬病予防法
6	薬事行政法規　1	医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律
7	薬事行政法規　2	麻薬及び向精神薬取締法 毒物及び劇物取締法
8	愛護・適正飼養の基本となる概念	愛護・適正飼養に関連する法規と愛玩動物看護師の関わり
9	愛護・適正飼養関連行政法規	動物の愛護及び管理に関する法律 愛がん動物用飼料の安全性の確保に関する法律
10	社会福祉行政・環境衛生法規　1	身体障害者補助犬法
11	社会福祉行政・環境衛生法規　2	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 化製場等に関する法律
12	野生動物等に関する法律及び条約　1	生物多様性 特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律
13	野生動物等に関する法律及び条約　2	絶滅のおそれのある野生動植物の種の国際取引に関する条約 絶滅のおそれのある野生動植物種の種の保存に関する法律
14	野生動物等に関する法律及び条約　3	鳥獣の保護及び管理並びに狩猟の適正化に関する法律 特に水鳥の生息地として国際的に重要な湿地に関する条約
15	野生動物等に関する法律及び条約　4	自然公園法における野生動植物保護に関する制度 文化財保護法における飼育動物や野生生物の保護に関する制度

2022年度生　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物生活環境学	担当講師 （実務経験）	伊藤　航 有■　無□		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	3年　（　■前期　・　□後期　）		
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数（1コマ90分）	前期（ 15 ）　後期（－）	時間（単位）	30（2）
概要	動物の行動様式を理解した上で、家庭等における飼養環境の整備、ペット共生住宅、ペットツーリズム関連施設、ドッグラン、保護収容施設、ペットの教育・訓練施設及び動物介在教育施設の整備・管理の方法、ペットの事故やケガ等のリスクを除去・軽減するための方法や飼育マナーについて学び、人とペットとの共生のための生活環境のあり方を理解する				
テキスト等					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合（%）
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	飼養環境整備　1	動物行動学を踏まえた人とペットのための飼養環境整備の必要性や方法
	2	飼養環境整備　2	ペット共生住宅の現状、環境整備・管理の方法
	3	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン　1	ペットツーリズムの現状と実施方法
	4	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン　2	ペット同伴宿泊ホテルの環境整備・管理の方法
	5	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン　3	ドッグランの環境整備・管理の方法
	6	ペットツーリズム関連施設、ドッグラン　4	ペット関連のイベント活動の企画運営や地域振興
	7	保護収容施設　1	動物シェルターや災害時の避難施設の環境整備・管理の方法、シェルターメディスン
	8	保護収容施設　2	動物愛護管理センターの役割、施設の概要、普及啓発活動
	9	ペットへの教育・訓練施設	動物の社会化トレーニングの意義、必要性、方法、施設等
	10	動物介在教育施設	学校飼育動物等の施設の環境整備・管理の方法
	11	ペット教育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応　1	飼育マナーの必要性や目的
	12	ペット教育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応　2	飼育マナーの歴史、地域における飼育マナーの違い
	13	ペット教育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応　3	地方自治体において定められている飼育マナーに関する各種の条例
	14	ペット教育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応　4	愛玩動物の種類別に必要とされている飼育マナー
	15	ペット教育のマナー・事故やケガ等のリスクへの対応　5	ペット保険の仕組みと実態

2022年度　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	ペット関連産業概論		担当講師 （実務経験）	伊藤　航 有■　無□	
対象学科	動物看護学科		年次・学期	3年　（　□前期　・　■後期　）	
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数（1コマ90分）	前期（-）　後期（15）	時間（単位）	30（2）
概要	ペット関連産業に従事する者としての職業倫理・行動倫理を理解するとともに、ペット飼養のニーズや形態、ペット関連産業を構成する業種の概要、動物取扱業における動物取扱責任者としての実践的知識や手法を学ぶ				
テキスト等					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合（%）
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品	20%
	授業態度	
	レポート	%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	ペット関連産業における職業倫理　1	責任と社会的役割
	2	ペット関連産業における職業倫理　2	商取引における関連法規
	3	ペット関連産業における職業倫理　3	動物愛護管理法にもとづく事前説明
	4	ペットの飼養実態と市場規模　1	ペットの飼育実態
	5	ペットの飼養実態と市場規模　2	ペット関連産業の概要と市場規模
	6	ペットの飼養実態と市場規模　3	ペット関連産業全体の市場規模
	7	各ペット関連産業の現状と課題　1	ペット産業の分類
	8	各ペット関連産業の現状と課題　2	動物病院の現状
	9	各ペット関連産業の現状と課題　3	動物病院以外のサービス業の現状
	10	各ペット関連産業の現状と課題　4	生体販売業の現状
	11	各ペット関連産業の現状と課題　5	ペットショップの現状
	12	各ペット関連産業の現状と課題　6	その他ペット産業の現状
	13	動物取扱業　1	動物取扱業制度の概要
	14	動物取扱業　2	動物取扱責任者として業務実施するために必要な実践的知識
	15	動物取扱業　3	動物取扱責任者として必要な実践的知識と動物の取扱方法や衛生管理に関わる手法

2022年度生　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	国家試験対策講座Ⅱ		担当講師 (実務経験)	池田　麻美 有■　無□	
対象学科	動物看護学科		年次・学期	3年　(　■前期　・　■後期　)	
授業形態	■講義　□実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(45)　後期(45)	時間(単位)	180(12)
概要	愛玩動物看護師国家試験合格を目指す				
テキスト等	(仮題)愛玩動物看護師国家試験問題集(緑書房・エデュワードプレス)				

	評価方法	評価割合(%)	
評価方法 評価基準	定期試験	60%	授業進度は変更になる場合があります
	小テスト・技術力・作品 授業態度	20%	
	レポート		
	出席状況	20%	

		講義テーマ	講義内容
授業進行	1	試験対策　1	模擬試験①
	2	試験対策　2	模擬試験②
	3	試験対策　3	模擬試験③
	4	基礎動物看護学　1	動物臨床検査学実習①
	5	基礎動物看護学　2	動物臨床検査学実習②
	6	基礎動物看護学　3	動物臨床検査学実習③
	7	基礎動物看護学　4	動物臨床検査学実習④
	8	国家試験対策問題　1	演習問題①
	9	国家試験対策問題　2	演習問題②
	10	基礎動物看護学　5	動物医療コミュニケーション
	11	愛玩・適性飼養学　1	愛玩動物学①
	12	愛玩・適性飼養学　2	愛玩動物学②
	13	愛玩・適性飼養学　3	人と動物の関係学
	14	国家試験対策問題　3	演習問題③
	15	国家試験対策問題　4	演習問題④

2022年度生　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物外科看護学実習Ⅲ		担当講師 (実務経験)	榊原　啓一郎 有■　無□		
対象学科	動物看護学科		年次・学期	3年　(　□前期　・　■後期　)		
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(-)　後期(15)	時間(単位)	30(1)
概要	手術準備や術中・術後管理、麻酔準備や麻酔監視、手術の補助、救急救命など、動物外科看護学で学んだ知識の実践力を修得する					
テキスト等	愛玩動物看護師の教科書 第4巻 基礎動物看護学(緑書房)					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)
	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	%
	レポート	20%
	出席状況	20%

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	術前準備 復習 1	手術器具の準備、滅菌、手術衣、タオル、ドレープ類の準備と滅菌
	2	術前準備 復習 2	手術に必要な機器、機械台の準備・手術台への動物の固定、術野の消毒
	3	術前準備 復習 3	手洗い、手術衣や手袋の装着
	4	術中補助復習 1	麻酔器の各部名称や使用法の理解、操作方法
	5	術中補助復習 2	モニター機器(心電図、血圧計など)の接続、術中監視
	6	術中補助復習 3	麻酔記録の作成
	7	術中補助復習 4	直接補助(器械の受渡しなど)・間接補助(無影灯、保温マットの操作など)
	8	術中補助復習 5	歯科器具の取扱い、歯科処置(歯石除去など)補助
	9	術後管理復習 1	術後の創傷管理(ネット、カラー)
	10	術後管理復習 2	術後の創傷管理(包帯(粘着性、自着性))
	11	術後管理復習 3	抜糸補助・保定法
	12	救急救命復習 1	必要な機材、薬剤の準備
	13	救急救命復習 2	気管挿管補助・保定法
	14	救急救命復習 3	心肺蘇生(人工呼吸、心マッサージ)手順の習得
	15	総括	まとめ

2022年度生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物愛護・適正飼養実習		担当講師 (実務経験)	名取　裕憲・長崎　幸恵・有壁　和・伊藤　航 有■　無□	
対象学科	動物看護学科		年次・学期	3年　(　■前期　・　■後期　)	
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)		前期(15)　後期(15)	時間(単位)　60(2)
概要	動物の飼養管理に関する基本的な取扱いや飼い主とのコミュニケーションなど、愛護・適正飼養学に関連した科目で学んだ知識の実践力を習得する				
テキスト等					

	評価方法	評価割合(%)
評価方法 評価基準	定期試験	60%
	小テスト・技術力・作品 授業態度	%
	レポート	20%
	出席状況	20%

		講義テーマ	講義内容
授業進行	1	動物の基本的な取扱い 1	動物種に応じた安全はハンドリング　①
	2	動物の基本的な取扱い 2	動物種に応じた安全はハンドリング　②
	3	動物の基本的な取扱い 3	動物を安全に散歩・運動　①
	4	動物の基本的な取扱い 4	動物を安全に散歩・運動させることが　②
	5	動物の基本的な取扱い 5	犬の散歩や運動、ふれあいのために、適切な道具(首輪、胴輪、リード、おもちゃなど)を選択することが
	6	動物の基本的な取扱い 6	動物の飼養環境を適切に整備
	7	飼い主とのコミュニケーション　1	犬や猫の品種に応じた特徴について説明
	8	飼い主とのコミュニケーション　2	動物の適切の飼養方法について指導
	9	飼い主とのコミュニケーション　3	動物の適切の飼養方法
	10	飼い主とのコミュニケーション　4	飼い主が法令に基づき厳守すべき対応について指導
	11	飼い主とのコミュニケーション　5	動物の飼養が困難となっている飼い主への支援を説明
	12	飼い主とのコミュニケーション　6	避難所等災害時の飼い主への支援を説明
	13	動物愛護管理行政　1	動物愛護管理センターの活動を理解する
	14	動物愛護管理行政　2	動物取扱業へ指導すべき内容について理解する
	15	動物愛護管理行政　3	動物取扱業における顧客等への対応についての実践

2022年度生　　講義概要　　札幌どうぶつ専門学校

科目名	動物看護総合実習Ⅲ	担当講師 (実務経験)	池田　麻美 有■　　無□		
対象学科	動物看護学科	年次・学期	3年　（　■前期　・　□後期　）		
授業形態	□講義　■実習	授業コマ数(1コマ90分)	前期(50)　後期(-)	時間(単位)	100(3)
概要	実際の動物診療施設で診療業務に参加し、これまでに学んだ学習内容を統合する。診療施設の概要や機能、獣医師との連携、飼い主とのコミュニケーション、愛玩動物看護師としての役割や責任について理解し、実務能力を修得する				
テキスト等					

評価方法 評価基準	評価方法	評価割合(%)	
	定期試験	%	実習先での評価を基に総合的に評価 実習前オリエンテーションの実施 施設により実習内容は変更になる場合があります
	小テスト・技術力・作品	%	
	レポート	50%	
	授業態度	30%	
	出席状況	20%	

授業進行		講義テーマ	講義内容
	1	動物病院実習	実際の動物診療施設で、診察室における診療の補助 スタッフと連携協働し、チーム獣医療の実践 動物看護計画を立案 飼い主に対し適正飼養及び療養生活の指導の実践 1日の振返り(自宅にてレポート作成)
	2		
	3		
	4		
	5		
	6	動物病院実習	実際の動物診療施設で、診察室における診療の補助 スタッフと連携協働し、チーム獣医療の実践 動物看護計画を立案 飼い主に対し適正飼養及び療養生活の指導の実践 1日の振返り(自宅にてレポート作成)
	7		
	8		
	9		
	10		
	11	動物病院実習	実際の動物診療施設で、診察室における診療の補助 スタッフと連携協働し、チーム獣医療の実践 動物看護計画を立案 飼い主に対し適正飼養及び療養生活の指導の実践 1日の振返り(自宅にてレポート作成)
	12		
	13		
	14		
	15		
	16	動物病院実習	実際の動物診療施設で、診察室における診療の補助 スタッフと連携協働し、チーム獣医療の実践 動物看護計画を立案 飼い主に対し適正飼養及び療養生活の指導の実践 1日の振返り(自宅にてレポート作成)
	17		
	18		
	19		
	20		
	21	動物病院実習	実際の動物診療施設で、診察室における診療の補助 スタッフと連携協働し、チーム獣医療の実践 動物看護計画を立案 飼い主に対し適正飼養及び療養生活の指導の実践 1日の振返り(自宅にてレポート作成)
	22		
	23		
	24		
	25		
	26	動物病院実習	実際の動物診療施設で、診察室における診療の補助 スタッフと連携協働し、チーム獣医療の実践 動物看護計画を立案 飼い主に対し適正飼養及び療養生活の指導の実践 1日の振返り(自宅にてレポート作成)
	27		
	28		
	29		
	30		